

右大臣岩倉具視殿

乙亥四月十九日

沿海府縣八達ノ義上申

當使管下事捕津木區赤小直渡島國津輕
郡根郡田村平民高山六三郎所有澳船本年
四月十五日同所出帆、終行方不相知段届出候ニ
付別紙之通沿海府縣八相達候條此段上
申候也

明治十年六月廿六

開拓長官黒田清隆

右大臣岩倉具視殿

丙男部り

沼田 府家

千二百九十二号

一 沼田

福改

焼 市アリ

カハ当仗者ハ渡馬國津野部根部一田村
より山六ノ市傳取所ヨリニテ日人外知人衆
和永年四月十方ハ所ハ船ノ快行カ不有也
所ハ下ハ自能カ取係者カ又ハ所在具少
及ヒテハ建ニ當仗ハ可取也其カ有也

昭和十年六月二十日 沼田長官黒田清隆

乙卯五月十号

官負以下負傷ノ義上申

一昨二十三日越中島ニ於テ當使屯田兵用火箭試
驗ノ際取扱ノ者手過ヨリ火火箭ノ近炸別記
名前ノ者共負傷候條此段上申候也

明治十年六月二十九日陸軍中将兼海軍少將官星田清隆

名大臣岩倉具視殿